

昨日も、今日も、  
声にならない声で  
叫んでいた。

自殺を考える人を  
どうやって助けるか。  
末木先生、教えてください。

辛くて、苦しくて、耐えられない。  
仕事の悩みや重い病、貧困などを理由に  
自ら命を絶とうと考える人たちは、  
家族にも友達にも相談できず、  
今日もどこかで声にならない声を  
あげているはずです。

どうすれば、彼らの声をすくい上げ、  
命を助けることができるか。  
自殺とメディアの関係を研究している

私は、NPO法人OVAとともに  
「夜回り2・0」という自殺の危険性がある人への  
支援活動に携わっています。

このプロジェクトは、インターネットの検索連動広告を  
活用し、たとえば「死にたい」と検索した人に  
相談サイトを案内し、悩みを聞いた上で現実世界で  
医師や行政などの援助者の助けを受けられるようにする  
ものです。このような実践的な活動を通じ、より効果的な  
自殺予防策を模索しています。自殺は遠くの出来事では  
ありません。まずは、あなたも考えてみてください。  
一人ひとりが知ろうとすることも、  
予防対策の出発点になるはずですから。



ひとりを光らせる  
和光大学

小田急線鶴川駅から  
徒歩約15分  
<http://www.wako.ac.jp/>

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

心理教育学科

講師 末木新



和光3分大学